

令和7年3月8日(土)

開演:13:00(開場は12:30)

会場:山形県生涯学習センター「遊学館」2Fホール  
(山形市緑町1丁目2-36)

※アクセス情報の詳細は遊学館ホームページをご参照ください。

料金:1,000円

前売り券:八文字屋本店(山形市本町2丁目4-11)

山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー(山形市平久保100 山形国際交流プラザ3F)

当日券:山形県生涯学習センター「遊学館」2Fホール前受付

山形市初上映

こころの

通訳者たち

What a Wonderful World

音が見えるように  
光が聴こえるように



主催:『こころの通訳者たち』山形市初上映を実現させる会

後援:山形市、山形市教育委員会

協力:認定NPO法人山形国際ドキュメンタリー映画祭

一般社団法人山形県聴覚障害者協会

山形県視覚障がい者情報センター(点字図書館)

お問い合わせ先 cocotuyamagata@gmail.com

この上映は、バリアフリー字幕付き上映となります。また、当日受付にて、イヤホンで音声ガイドを聞くことができるFMラジオを貸し出します。(台数に限りがあります。ご了承ください。)  
※本作品は『UDCast』方式による音声ガイドにも対応しています。  
専用アプリをインストールしたスマートフォンの携帯端末をお持ちの方は、スマートフォンにイヤホンを接続して音声ガイドを聞くこともできます。

© Снупк!



© Chupki

## 『こころの通訳者たち What a Wonderful World』

(2021年/日本/ドキュメンタリー/94分)

[出演]

平塚千穂子 難波創太 石井健介 近藤尚子 彩木香里 白井崇陽  
語り 中里雅子

[スタッフ]

監督: 山田礼於 プロデューサー: 平塚千穂子

制作: 越美絵 撮影: 金沢裕司 製作・配給: Chupki

[ストーリー]

耳の聴こえない人にも演劇を楽しんでもらうために挑んだ、3人の舞台手話通訳者たちの記録。その映像を目の見えない人にも伝えられないか? コロナ禍で進行した「音声ガイド」づくり。ちょっと無茶かも…と思われたアイデアから対話が生まれ、互いに知らなかったことに気づいていく。壁にぶつかりながらも音声ガイドづくりを「諦めない」メンバーたちの想いが、いつしか言語を超え、障害のあるなしを超えて『こころ』のバトンを繋いでいく、前代未聞のドキュメンタリー。

### ここがおすすめ

「2年前、全ての人に映画を届ける日本で唯一のユニバーサルシアター「シネマ・チュプキ・タバタ」に出逢い、胸を熱くしました。映画の街山形の皆さんにユニバーサル上映というものを知ってほしい、そして、この映画を観てもらいたい。その一心で山形市初上映を企画しました。この映画が持つ力を信じています。」

『こころの通訳者たち』山形市初上映を実現させる会メンバー  
田畑 優

「手話に音声ガイドをつけるまでの、小さいけど偉大なる一歩。視覚・聴覚なき人々が“こころ”の対話を重ねて、新しい世界を創り上げる軌跡が、美しくて羨ましくて仕方ない。そんな世界を山形の方々にもぜひ観てもらいたくて上映会を企画しました。鑑賞後、他者と違う自分が好きになる。自分と違う他者と対話したくなる。」

『こころの通訳者たち』山形市初上映を実現させる会メンバー  
尾形剛弥

聞こえない人に生の演劇の感動を伝えたい。見えない人にありのままの映像を届けたい。



[ゲスト] 平塚千穂子

東京出身。早稲田大学教育学部教育学科卒業後、飲食店や映画館に勤務。チャップリンの『街の灯』のバリアフリー上映企画をきっかけに、2001年 ボランティア団体 City Lightsを設立し、視覚障害者の映画鑑賞環境づくりに取り組む。2016年 ユニバーサルシアター CINEMA Chupki TABATAを設立。その功績が讃えられ、第24回ヘレンケラー・サリバン賞受賞。2021年『こころの通訳者たち』を製作し、2022年 山路ふみ子映画賞 福祉賞、文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞(芸術振興部門)、2023年 読売福祉文化賞受賞。  
☆本作にも音声ガイド制作者として出演。

[当日スケジュール]

- 12:30~13:00 開場
- 13:00~13:10 開演、アナウンス
- 13:10~14:45 映画上映
- 14:45~15:30 ゲストトーク

※要約筆記・手話通訳付き

上映会進捗情報 X(Twitter) ▶



映画『こころの通訳者たち』公式サイト ▶

